

木祖村議会だより

道しる



9月議会 村税の減少で自主財源確保は



9月21日(土) 木祖小学校運動会

未来に向かって精一杯頑張る子どもたち

令和元年10月31日

No 166

9月
会議

平成30年度決算認定 村税は減少傾向続き、 依存財源の比重が徐々に増えてきた。

9月11日(水)に再開された令和元年木祖村議会9月会議では、以下の議案等について慎重審議、全案件を原案通り可決9月18日(水)に休会しました。














- ・専決報告1件 (損害賠償の額の決定について)
- ・決算認定6件 (平成30年度決算)
- ・補正予算2件 (令和元年度予算)
- ・条例改正1件 (災害弔慰金の支給等に関する条例)
- ・条例制定1件 (農産物加工センターの設置
及び管理に関する条例)
- ・報告 1件 (平成30年度決算に基づく健全化判断比率他)

平成30年度 村のお金の使い道 (一般会計目的別決算概要)

歳入：29億5345万円 (1億2898万円増) 歳出：28億4178万円 (1億2160万円増)
差引 1億1166万円

クリーンセンター建設負担金がなくなるも、CATV光化促進事業や
フットボールコート整備、村営住宅建設、災害復旧工事等により増加

総務費 6億6695万円 (1億4988万円増) ・CATV光化推進事業 ・役場庁舎維持管理費 ・地域振興バス 他 	民生費 4億7167万円 (291万円減) ・介護保険・保育所運営 ・子育て支援、 社協運営補助 他 	衛生費 1億17万円 (1億6569万円減) ・プレママサポート事業 ・各種検診、予防接種 ・リサイクル事業 他 
農林水産業費 2億684万円 (791万円減) ・加工施設調査 ・農業・畜産振興 ・有害鳥獣対策 他 	商工費 2億1481万円 (8740万円増) ・プレミアム付商品券補助 ・観光協会運営補助 ・こだまの森施設整備 他 	土木費 3億8121万円 (6598万円増) ・橋梁長寿命化事業 ・見山地区急傾斜地崩壊対策 ・村営住宅建設 ・道路維持、冬季管理費 他 
消防費 1億1375万円 (6245万円減) ・第4分団消防ポンプ車更新 ・広域消防負担金 ・防災備品の整備 他 	教育費 1億8314万円 (167万円減) ・小学校プールろ過機改修 ・小中学校維持管理 ・公民館運営費 ・給食センター運営 他 	災害復旧費 3499万円 (2953万円増) ・平成30年7月 豪雨による災害 復旧 
公債費 3億7219万円 (932万円増) ・地方債 (過疎対策 事業債など) の元 利償還金 	議会費 3423万円 (83万円増) ・議員報酬、共済費 など 	諸支出金 6183万円 (1932万円増) ・ふるさと創生基金 ・木祖村公共施設整備 基金他積立 

※ () 内の数字は前年度比。

木祖村選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

議会において選挙（4人の当選【決定・承認】）

【選挙管理委員】

- ・林 昌明
- ・坂下 昭
- ・奥谷 卓朗
- ・木山澤福夫

【同補充員】

- ・村井 千秋
- ・翁像 愛子
- ・青木 武弘
- ・古畑 久美

監査報告

木祖村代表監査委員の 奥原太門 氏から下記のとおり報告がありました。
《報告内容は次の内容であった》

ここ数年、税収等減少する中、職員の努力により適切な行政サービスの水準と健全な財政状況が保たれていると考えられます。

しかし、今後はさらに人口減少・公共施設の老朽化・消費税増税等一般財源による事業増加が予想されます。自主財源の確保と特定財源を積極的に活用しながら、効果的な財源配分に努め、安心して暮らせる村づくりをお願いします。

請願・陳情

発議 第5号 義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書案の提出について【議決】

内容 教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し負担率を2分の1に還元すること。

発議 第6号 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書案の提出について

【議決】

- 内容
- 1 国の責任において計画的に35人学級を押し進めるために、義務標準法改正を含む教職員定数改善計画を早期に策定し、実行すること。また、そのための教育予算の増額を行うこと。
 - 2 国の複式学級の学級定員を引き下げること。

以上 2件

請願を採択・議決し地方自治法第112条第1項の規定により意見書を提出しました。

【意見書提出先】（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣）

長野県木曾郡木祖村議会

9月 委員会審議

厚生文教委員会

選 管

問 現在不在者投票者が多くなっている。同時に高齢者が投票所まで足に負担が大きい。投票所の数を減らすことはできないか。

答 基本的に当面変更する予定はない。逆に県選管方は増やしたい方向である。

問 期日前投票所、狭すぎて人目を気にしてしまう。良い方法はないか。

答 選挙システムの関係で、役場1Fしかないのが現状である。

職員関係

問 一部の職員接客がいまだに良くないが配置転換などできないか。

答 職員に対して朝礼で指導している。対応については今後も庁内が良いよう心がけ職員組合と協議しながら庁内の機構改革も考える。

村の表彰

問 村の表彰者関係で女性がいないのはおかしい。基準はどうなっているか。

答 村としても今後、条例改正など考え検討していく。

高齢者ドライバー

問 高齢者でのアクセル・ブレーキの踏みまちがいが多発している。他の市町村では補助対策が一部なされているが、本村での対策防止策はあるのか。

答 防止装置補助については、警察からの情報提供もあり検討していきたい。

駐車場

問 村営駐車場と公共施設駐車場関係で無断駐車している。料金に不公平差がある。改善方法はあるのか。

答 地域住民の都合もあるので今後調査しながら対策を考える。

免許返納

問 免許返納者の実績状況はどうか。

答 定期券申請者の関係で平成30年度は30件以上と思われる。

一里塚（三角土場）村営住宅入居者

問 住宅に入居した方々は、村内もしくは村外なのか出身はどこから来たのか。

答 全4戸すべて村外からの移住者である。仕事は村内・村外に関わっている。本年度完成の住宅入居者等に関しても希望者がありそうである。

学校関係

問 小中学校の統合についてどうなるのか。

答 小中学校は残したい。老朽化や少子化で何年か先には、村民や議会と相談しながら判断する時がくる。

子どもの体力

問 近年の子どもの体力低下をどのように考えるか。

答 弱点を克服できるよう学校側で対応している。

補正予算

問 130周年記念イベント補助の申し込み状況はどうか。

答 3団体から申請があって交付済である。

健康ポイント

問 健康ポイント検診クーポン券の実績はどうか。

答 123名の検診利用者があった。

中学校改修工事

問 音楽室カーペット張り替えと、灯油地下タンク廃止はなぜなのか。

答 生徒の健康状況と、安全性に配慮しての工事である。



9月 委員会審議

産業経済委員会

ファーム木祖

問 ファーム木祖の収支はどのようにしているか。

答 会計は農協に委託、毎年総会に決算書を提出し承認されている。

そば農家

問 生産者の収支状況はどうか。

答 個々の分析はできていない。補助金は引き続き交付されている。村内にも乾燥機が有り生産についても赤字になることは今のところない状況である。

鳥獣対策

問 有害鳥獣の繁殖を抑制するため、増やさない方法で何かできないか。

答 そのような手段は検討していない。

こだまの森

問 こだまの森新設ケビンの稼働状況はどうか。

答 今日現在に於いて、平成29年度末までは分かるが、30年度の実績がまだ提出されていない。

縁結神社

問 縁結神社グッズの売り上げ状況はどうか。

答 近年はグッズの売り上げなどが好調で50万円ほどあり、年々増している。

あやめ池

問 イベントで受賞した料理や岩魚イベントの継続はどうか。

答 料理の関係は特産料理とし活用に力を入れたい。ヤマトイワナの産卵場整備は継続したい。

テンカラ釣り

問 テンカラ釣りは継続するのか。

答 地元からは継続の希望が多い。エサ釣りとテンカラ釣りのトラブルが無いように専用釣り場として検討する。



テンカラ大王として有名な「石垣尚男先生」による
笹川での実演講習会の風景

農 業

問 生産者の高齢化に伴い、特産のモロコシなど農作物を作るのに大変である。農業の継続のため、道の駅や加工センターへ持ち込む生産者たちに対して農業の法人化ができないか。

答 総合戦略等、今後の計画で検討したい。

補正予算130周年記念イベント

問 会場の社会体育館は音響が悪い。また会場はどのようにするのか。

答 出演者が高音質の音響設備を用意する。また会場はシートと椅子を用意する。下足での入場は予算上対応できない。

スキー場の検討会

問 スキー場のあり方検討会に女性がいないのはなぜか。

答 スキー場組合の方から女性の意見も含めて検討会上げていただくよう考えている。

議会活動と研修会情報

令和元年
7月29日(日)

長野県町村議会議長会議員研修会 下諏訪町 下諏訪総合文化センター大ホールにて開催

地方分権時代を迎え、判断と責任のもと効率的な行政運営に於いて議会の活性化、住民福祉向上に資することを目的としての研修会であった。

この会場には、県内各地域の議員約700人の参加が有り大規模な研修会でした。



- 講演① 明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授
牛山 久二彦氏による
《町村議会のあり方と定数・報酬をめぐる論点》
- 講演② 滋賀大学客員研究員 提中 富和氏による
《条例の読み方・政策条例の考え方》

令和元年
8月1日(日)

木曽郡町村議会議員総会 上松町ひのきの里 総合文化センターにて開催

前年度の決議事項処理報告、本年度の提出議題等を審議し採択され、木曽郡の住民の期待に応える十分な機能を構築していくために、国と地方が総力を上げて取り組んでいかなければならない事を確認し、木曽郡全体一丸となりこれからの木曽を考える総会でした。



閉会后、講師の長野県林務部信州の木活用課長「城 風人氏」による「森林環境税と新たな森林管理の取組」の講演会を開催。議員同士の顔合せと意見交換会となりました。

家畜市場現地視察

8月8日(休)に木曽町にある長野県中央家畜市場で開催された和牛セリ市の現地視察を行いました。県内各地で生まれ9か月程飼育された320頭余の子牛が出荷され、県内外から訪れた購買者に平均73万円程で取引されました。子牛はこれから20か月間肥育されていきます。前回6月市場に比べると4万円程安値でしたが、これにはTPP11や米中の貿易摩擦が影響しているようです。子牛価格は系統や発育の良し悪しにより40万円から120万円まで大きな開きがありました。

夕方、市場反省会が開催され生産者の皆さんと懇談し意見交換を行いました。



木曽町伊谷のセリ会場
議会委員の視察研修

令和元年
8月20日(火)

市町村議会 森林・林産業活性化促進議員連盟 長野県連合会議の総会が安曇野市豊科公民館ホールにて開催

研修会 長野県林務部森林経営管理支援センター企画幹 千代 登 氏による
《森林管理制度と森林環境譲与税について》の説明

講演① 伊那市農林部耕地林務課 課長 柿木 淳一 氏による
《林業成長産業化地域創出モデル事業（新たな林業管理システム関連）

の取組について》

講演② 安曇野市農林部耕地林務課 課長 佐藤 明利 氏による
《地域と行政が連携した里山の利活用事例（「さとぷろ」）について》

加工センターと運用開始



道の駅横に、農産物加工センターが当初より約2ヶ月遅れたものの年内にオープンします。この加工センターに関して中の備品落札業者は、新潟県の「新生バイオ」に総額37,555,100円に決定しました。

大事な村の管理施設となるので村の為に有効に活用できるようお願いします。

住民向けの工場見学は11月21日頃
竣工開所式は 令和元年12月6日の予定
運用開始 令和元年12月9日の予定

東海地区木祖村人会通常総会

去る9月22日、名古屋市中区「ローズコートホテル」にて「東海地区木祖村人会」第10回通常総会が開催され、本村からは村人会役員と副村長、議員、観光協会、商工観光課関係者など約13人が出席しました。

三浦会長からは、「村会の設立には元村長の栗屋徳也さんや顧問の西野正さんをはじめ多くの方の努力があり、この度第10回の通常総会を迎えることができた。全国的に『県人会』

はあっても『村人会』と称する団体は他にない」というご挨拶がありました。

現在、小木曾出身の三浦浩さんを会長として135人の会員を有する「東海地区木祖村人会」は、木祖村出身者にとどまらず、東海地区の多方面より入会された方も多く、外からの目線で木祖村のために何ができるかを日々考え、活動されています。

東海地区にこのような大きな団体があることに感謝し、今後も村づくりを頑張らなくてはならないと思うところです。



村の子どもたちにと、
ゴルフチャリティーでの寄付金をいただきました

令和元年
10月6日

木祖村商工会・日進市商工会 友好姉妹提携30周年記念式典、並びに交流会開催について 日進市民会館小ホールにて開催

昭和59年に木祖村商工会青年部視察研修で日進町を訪れた関係で、日進町商工会青年部との交流が始まり友好が深まりました。これを機に、平成元年11月19日（当時の日進町役場）において、両町村長、両議長立会のもと「調印式」がおこなわれ友好姉妹提携となりました。

以来、30年の年月が過ぎ、この度、日進市において、30周年記念式典を開催。市長・村長立ち会いのもと両商工会長による「友好姉妹提携議定書の調印式」がとりおこなわれました。村長をはじめとする役場職員・商工会関係者・青年部・観光協会・議会を含む25人の関係者が参加、再びいま以上の交流が深まることを願い記念式典となりました。



一般
質問

村政を問う

4 議員 7 件

鈴木 正弘議員

- 1 郷土館の有効利用と空き家との関連性
- 2 火災・災害時の対応・消防団員への指示は

田上 芳朗議員

- 1 水道法改正に伴う村の対応は
- 2 村有構築物の維持管理について

深澤 衿子議員

- 1 大平のため池について
- 2 防災・減災について

安原千佳世議員

- 1 法人化した木祖村観光協会の評価はどうか



鈴木正弘 議員

郷土館の有効利用と空き家との関連性

答 郷土館の資料を点から線・線から面に活用する

問 現在郷土館（築・約45年、当時約1億500万円の建造物）の利用者数・年間平均入館料また耐震は十分か。

教育委員会・次長 昨年利用者数は186人・入館料は52,300円で、ここ10年間の平均利用者は250人・入館料は61,680円であり、耐震は平成22年の調査では耐震補強の必要なしであった。

問 最近では木曽地域が日本遺産に登録、蓼原宿はインバウンドを含めた客層が多用化、平成23年8月に関係法律の整備に関する法律が成立【特にバリアフリーとセキュリティ対策などの必要性】で早急に整備をして、館内の資料等に於いては、この村が荻曽村であった由来を紹介しながら資料が皆さん方に解りやすく、そして英語の説明をしたり郷土館と旧中山道との融合性を活かす為の良い施策はあるのか。

教育委員会・次長 多言語による案内表示や音声案内などわかりやすい紹介の仕方や、バリアフリーやセキュリティ対策も含め課題としたい。

問 蓼原駅を拠点に「目で見て足を止める街道」・「空き家を活かした見学処」「空き地の東屋」歴史に刻まれる「お六櫛」を含めた活性化、鳥居峠の観光名所「人々のにぎやかさが生まれる」事を目指し【点から線・線から面】にしたいと思うがどうか。

教育委員会・次長 空き家に、一部の資料を展示するなど各庁内での連携を図り町並の活性化に繋げたい。

他 《火災・災害時の対応・消防団員への指示は》



水道法改正に伴う村の対応は

答 命の水は村が守る

田上芳朗 議員

問 平成30年12月に水道法一部改正が国会可決、公布されたことにより、水道事業への民間参入、特に外国系資本の参入が懸念される。民の経営となれば、料金の値上げや災害時の対応等、水に対し、村民が不安をいだくことになるが、水道事業の経営戦略はあるか。また、国推奨の広域的経営を考えているか。

村長 基本的に、命の水は行政が守る。木曾郡において広域連携事業は困難であり、水道事業は、村が行う。

問 道の駅加工施設等の村有構築物が増加傾向にあるが、村有施設数と年間維持費の額を伺う。

総務課長 維持管理施設は232施設。大規模修繕費を除き、維持修繕費と光熱費で年間4,200万円支出している。



他 《村有構築物の維持管理について》



大平のため池について

答 まち・ひと・しごとと総合戦略の計画で活用していく

深澤衿子 議員

問 昨年から大々的に改修が行われ完成間近となって来た。災害のないため池となる事が村民にとって安心できる事業である。完成後の村として活用をどう考えて取り組むか。

商工観光課長 県減災事業として工事は進んでいる。同時に栈橋設置を計画している。夏はカヌー・冬はワカサギ釣り等考えているが誰が管理・運営するかは未定、地元の自治協、自然同好会などの関係者と協議しなくてはならない。

問 栈橋は、一周できるかたちで車いす、バギー等、遊歩道として誰もが利用、訪れるよう願う。活用は横の連携をもって来年度に向けて取り組む事を要望する。

商工観光課長 提案には前向きに取り組む。

問 昨年のため池イベントでの料理コンテストは浜このみさんをお願いしメニューを村のオリジナルメニューとして監修いただいた。道の駅では提供してい

るが時間もお金も使ったが皆さんに広がっていない。この経過についてどう考えているか。

商工観光課長 PR不足は反省している。今後検討課題としてPRも含め取り組み追究していきたい。

問 先程、地域と連携の話は出たが村長はどう考えているのか。

村長 あのため池は県の温水ため池第1号である。県により改修していただき菅川の源流とも言える場所なので観光立村として、まち・ひと・しごと総合戦略の中で計画していきたい。補正にある様に菅生産と協力して東側の木を伐採し景観を良くしていく。

意見 観光立村の前に住民にとっても楽しめる場所としてしっかり整備していく事が先決。

他 《防災・減災について》



安原千佳世 議員

法人化した木祖村観光協会の評価はどうか

答 徐々にではあるが当初目標に向けて進展しつつある

問 平成29年10月に一般社団法人化した観光協会は稼働して2年経過する。30年度は通期稼働最初の年度である。決算について交付金、委託料等の実績を明示して説明願いたい。

商工観光課長 協会への支出は人件費等一般管理費で17,141千円の交付金、上下流交流事業交付金として1,082千円、名古屋出張所アンテナショップ運営交付金として10,739千円交付金合計は28,962千円である。決算は一般会計とアンテナショップ等の収益事業からなるが、収入合計は50,083千円、支出は35,808千円で差引14,275千円の繰越となっている。

問 当初計画と現状を比較し人員体制、事業計画等で齟齬が生じている点はないのか。村としての評価はどうか。

商工観光課長 出向の事務局長1名と職員2名、地域おこし協力隊1名の4名体制となっており、当初計画

の5名体制より1名減の状況。事業面ではアンテナショップでの拡販のため酒類販売免許取得、体験型ツアー企画、イベント発信、スポーツ合宿の受入推進等。インフラ整備や職員育成に手間取り、道半ばの事業もある。しかし総じて徐々にではあるが進展しつつある。

問 こだまの森、スキー場の広告宣伝に係わる観光協会、奥木曽グリーンリゾート、村の役割分担はどうなっているのか。

商工観光課長 協会が法人化されるまでは、村職員が兼務していた。法人化後は広告宣伝費として5,000千円を協会に交付。協会が奥木曽GR(株)等関係者と連携し民間ノウハウを生かしてパンフレット等作成している。広告宣伝費の効果を金額に値するかどうかの判定は難しい。広告宣伝の方策は三者で協議し進めている。

松塩筑木曾老人福祉施設組合議会の報告

8月5日、塩尻市保健福祉センターにて改選後の8月臨時議会が開催された。

正・副議長の指名選挙

議長 塩尻市議長 丸山 寿子 副議長 松本市議員 小林 あや

議会運営委員会委員長の指名(9名)

議案第1号 監査委員選任 朝日村副議長 中村 文映
第2号 監査委員選任 松本市監査委員 太田 雄夫
第3号 令和元年度一般会計補正(第1号)
債務負担行為の補正

(各施設の来年度、給食調理業務委託の給食提供体制を整えるものである)

全員協議会

- ① 給与制度等検討委員会委員について
- ② 組合の経営指針2025について
- ③ 会計年度任用職員制度(素案)について

★② 組合の経営指針2025は、組合議会が11月なのでその前に木祖村議会として議員協議会等で共通認識をもち取り組みたいと考えている。

給食調理業務委託の現状 (令和元年度)

施設名	定員	所在地	委託先業者名	委託金額(千円)	備考
木曾あすなろ荘	80	南木曾町	日清医療食品(株) 名古屋支店	28,122	全面委託
サニーヒルきそ デイそほく	80 25	木祖村	日清医療食品(株) 中部支店	18,966	完全調理品
なんてんの里 デイひなたぼっこ	70 30	木曾町	(株)魚國総本社	21,661	

※尚、木曾広域連合の報告は、広域連合が発行する広報誌をご覧ください。

元気発見! むらびと大図鑑

笑顔



西野^{ことは}心葉ちゃんと、お母さん^{あや}彩さん、 弟の獅道^{しどう}くん

「ことはちゃん」に負けじと笑顔が素敵なお母さん。
木祖村の人は温いので嫁いで良かった。
今、4人のお母さんです

湯川^{しゅういち}秀一さんとひ孫の星良^{せら}ちゃん

とっても素敵なおじいちゃん昭和3年生まれの92歳
D51の整備や見守りをしています。

毎日、健康づくりの散歩と夜の一杯が楽しみ。
また、ひ孫と遊ぶのが一番の若さの秘訣。

ひ孫の星良ちゃんは、茨城県なかみなと第三小学校5年10歳、
4年生の夏休みに村のパフレットを参考に母さんの故郷を紹介して茨城県なかみなと地区小学校新聞コンクールで見事優勝しました。(村民センターに掲示してあります)

おじいちゃんとひ孫



宇宙の最前線



和泉^{きわむ} 究さん

宇宙物理学の最前線で活躍、木祖中学校で生徒や村民の方々に宇宙の話をしていただきました。

1985年生まれ、水がめ座

木祖村の星は、やはりきれいです。

いつも宇宙への思いに馳せています。木祖村が大好きです!!

編集後記

現在10人の議員のうち半数は新人議員ですが就任して半年が経過しました。新しい議会報編集委員は従前の慣習やものの見方・考え方にとらわれず新たな視点で考え活動しています。それが私たちに期待されることであります。

かといって従前の考え方を全く無視することなく、バランスよく各自の個性が表れるように活動をしています。

議員になって地元のことがよく解っていなかったことなど改めて認識させられることが多く、いろいろな行事、集会に顔を出すことが肝要です。同時に覚悟しながらせせと顔を出すように心がけたいです。人を知り地域を知ることが大切で、いろいろ意見を言ってくれる人がいて勉強になります。出不精では議員が務まらないのでフットワークが大切であると自覚しております。